

WEEKLY REPORT



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

第2426回例会 逗子ロータリークラブ 2011-2012 No.32 2012年3月8日

会長◆三宅 譲 会長エレクト◆岩瀬浩人 副会長◆菊池 尚 山本由夫
幹事◆藤吉一哉 SAA◆葉山重康 会計◆市川 浩 会報委員長◇橋 武
E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp Website: http://www.zushi-rc.com/
例会日: 第1・2・4木曜日 12:30~13:30 第3木曜日 18:30~ 第5木曜日 18:00~
例会場: 逗子市新宿 1-3-35「カンティーナ」 TEL: 046-870-6440
事務所: 逗子市逗子 1-9-26 萬屋ビル2F TEL&FAX: 046-873-0226

本日の進行(12:30)
岩瀬 浩人 会員
「モーガンと世界の車事情」
—次回のお知らせ—
3月15日(18:00)
国際奉仕関係
フォーラム(於: カンティーナ)

《 第2425回 例会記録 2012年3月1日 》

出席報告	会員数 49名 (出席免除6名)	出席数 33名	出席率 70.21%	前回修正出席率 80.85%
ビジター				

三宅会長の 気張って一言

岩手、宮城、福島の子の被災者のうち、今なお避難生活を送っている人は34万3,000人を超え、このうち7万3,000余の人々が県外での生活を強いられている。避難者の多くはその地で生まれずっと育った故郷に想いをはせながら暮らしている。個人住宅に対する整備への国等の支援の手は現実的には届いていないと聞く。帰りたくとも帰る自宅を直せないのが現実という。◆もっと深刻なのは福島第1原発周辺地域で、4月から指定が始まる「帰還困難区域」内に自宅があれば5年間は帰れないという。福島県南相馬市では、現在、働き手の中心となる20歳以上50歳未満の人口は震災前のほぼ半数になり、20歳未満は4割を切っている。若者

東日本大震災からまもなく1年

たちは住み続けたくても仕事が見つからないのだ。これからの“復興”といってもその担い手となる世代が帰還しないのであれば、相対的に増えた高齢者を頼りにせざるを得ず厳しい。政府の怠慢があるにせよ、いまだその復興が遅々として進んでいないのもわかる。◆増税で捻出する19兆円の復興資金で、若者が安心して帰って働けるような5~10年を見据えた産業の育成、雇用の創出が望まれる。年度内に予算を消化するためや役人と業者の利権がらみの不要なハコモノの乱造では困る。それが被災者や国民の求めた姿ではないことは明らかだ。1日も早く新しい『東北太平洋岸三県』の勇姿が見たい。

■ニコニコBOX

本日合計 ￥44,000

累計 ￥1,661,600

船津君…スピーチします。よろしく。

三宅君、毛利君、臼井君、柳沢君、松田君、宝子山君、
…船津さん、スピーチ楽しみです。

藤吉君、市川君、湊屋君、矢部(房)君、岩瀬君、川上君、
草柳君…船津会員、スピーチよろしくお願ひします。

岩堀君、山本(三)さん…50周年式典今月末！頑張ろう。

三堀君…第2回目の例会出席です。がんばります。

安藤君…上海より例会に間に合うよう帰国しました。

渡邊君…敬老寄席、後援ありがとうございます。

菊池君…大雪で歩行者事故発生。

桐田君、山本(由)君…昨日は大雪、雪かき大変でした。

矢部(光)君…雪で梅の開花が遅れてか。春は遠い！

大野君、奈良さん、村田君…3月です。春が来てる。

村松君…梅一輪、一輪ほどの暖かさ。春よ来い。

報告

渡邊雑誌委員長：ロータリーの友
3月号の解説

理事会報告

- *3/22(木) 通常例会の中で50周年記念式典関係のハコモノ、打合せを行う
- *3/30・31の記念式典関係は案内の内容通り。
- *3/25(日)第2グループI, M:出席者は現地集合。13:30登録、鎌倉プリンスホテルにて。
- *4/22(日) 地区協議会 湘南工科大学にて。出席該当者(次年度)に案内を配布。
- *4/26(木)11:00~ 5月度 現・次合同理事会。
- *予算執行状況報告:順調に執行。
- *3.11 All Zushi Movement協議会に「逗子クラブ」として協力。マドカド前にて。

90g石鹸の歴史



職業分類：穀物販売
船津 孝次郎 会員

入会した時は第800回例会で、現在2425回。その間、壇上で30分お話をするのは初めて。

石鹸屋の息子であったので学生時代も手伝った。石鹸の歴史は、明治6年横浜に堤磯右衛門が石鹸製作所を開設。彼の門下生が花王・資生堂に。以前は46社もあったがほとんどが明治末までに廃業。今でもあるのは、玉の肌石鹸の芳誠舎、現在は大手メーカーが主に。化粧石鹸の原料は牛脂・ヤシ油・苛性ソーダ・塩・水などで種類は黒砂糖石鹸（ハチミツと黒砂糖）、透明石鹸（アルコールと牛脂）で高級品女性のおこがれで三面鏡の前に置くのがステイタスであった。いまはスズキヤの2Fにいつもある

合成洗剤の出現は第一次世界大戦で、ドイツで開発された。兵士の制服を洗うのに初めて石油からつくられた。

第2次世界大戦以後は弱アルカリ性の粉石鹸が出来、それが画期的な「ワンダフル粉石鹸」で、泡をおさえたもので洗たく機に最適でヒットした。

1987年にはさらにより小さな容量で同等の洗浄力をもつ「アタック」が登場しそして現在は液体の洗たく石鹸の時代に。

50周年
3・30

アメリカ海軍や海上自衛隊の艦船が間近で 日本唯一のクルージングツアー

周遊船をチャーター 三笠公園に集合 午後1:30



横須賀軍港めぐり

海軍港としての歴史を重ねるYOKOSUKA

横須賀港は、いまから約15年前、嘉永6年（1853年）米国ペリー艦隊の黒船4隻が久里浜に上陸して以来、横須賀鉄工所、海軍工府、軍港として発展してきました。いま、アメリカ海軍横須賀施設は11隻の艦船が母校としてまた大学・病院・映画館・競技場など約2万人の人々が生活する街。いっぽう長浦港には海上自衛隊の艦艇・航空機を指揮する第1護衛艦司令部が置かれており海上自衛隊の中核を担っております。

エクスカーション

夕日と富士山を正面に 逗子・葉山の海の幸を

前夜祭

あぶずり 葉山港管理事務所3階に 午後5:30 集合

鑑摺 葉山港管理事務所3階にて、江の島・富士山・夕日など180度の眺望に加え、湘南地元漁師料理を楽しんで頂きます。京都紫野RCの皆さまにも喜んでいただけたらと思います。



あぶずり港からの 夕日